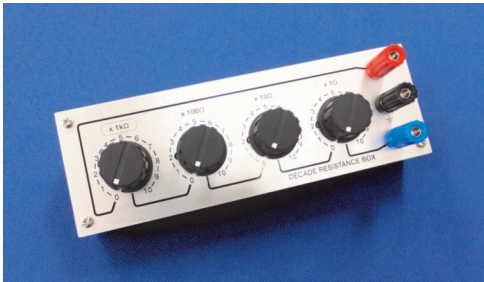


DECADE RESISTANCE BOX KIT

DRB-KIT



- 組立説明書 -

4ダイヤル式の可変抵抗ボックスです。回路設計などにご使用できます。簡易な組立キットながら、実用性を考えた作りになっています。

組み立て時間： 2時間程度

○必要な道具など

道具名	使用する作業
はんだゴテ(30W程度)	①②③④
やに入りはんだ	①②③④
ニッパー	④
ラジオペンチ	③④
ワイヤーストリッパー	②④
プラスドライバー	⑤
テスター(抵抗値を測るもの)	⑥

○注意事項

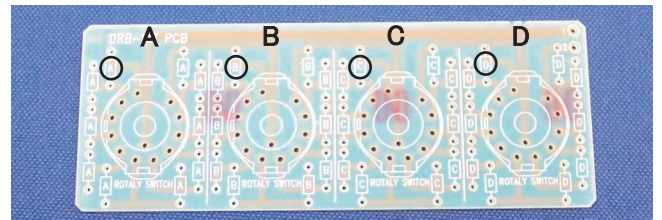
本キット組立にははんだ付けやリード線切断加工などが含まれます。十分安全に配慮し、事故・怪我の無いようお願いいたします。

東京光音電波株式会社 MADE IN JAPAN

○セット内容(作る前に確認しましょう)

	部品名	数
	A パネル	1
	B 中板	1
	C ロータリースイッチ	4
	D ターミナル端子(赤・青・黒)	各1
	E ツマミ	4
	F プリント基板	1
	G ケース	1
	H 抵抗器A (1kΩ)	10
	H 抵抗器B (100Ω)	10
	H 抵抗器C (10Ω)	10
	H 抵抗器D (1Ω)	10
	- リード線(赤・青・黒)	各3
	- ワッシャー・六角ナット	各4
	- なべ小ネジ	4
	- ゴム足	4

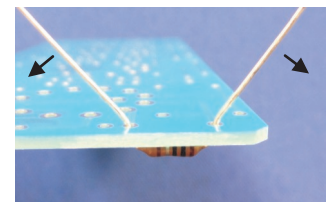
①抵抗器のはんだ付け



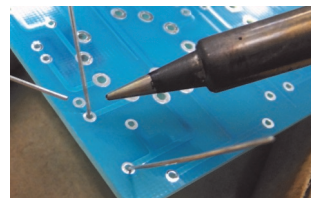
プリント基板に表示されている英記号にしたがって抵抗器をはんだ付けします。(全部で40本)



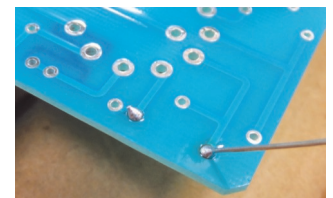
1. リードを曲げて抵抗器を穴に通します



2. リードを少し広げて外れないように固定します

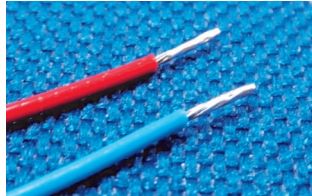
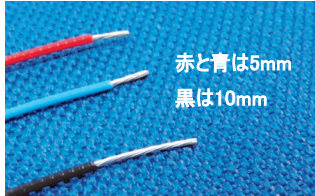


3. プリント基板を裏返してはんだ付けします



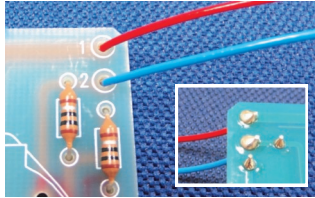
4. 余ったリードはニッパーで切り取ります

②リード線のはんだ付け

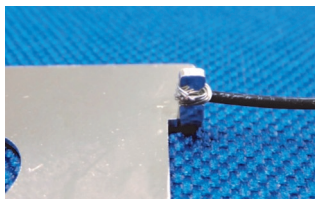


1. リード線の先端をワイヤーストリッパーで剥く

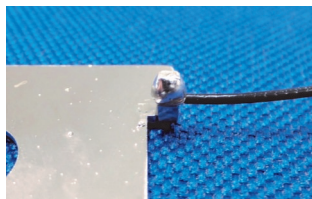
2. 赤・青のリード線のみ剥いた部分に予備のはんだをします



3. プリント基板の1に赤いリード線、2に青いリード線をはんだ付けします



4. 中板の曲がっている先端部分に黒いリード線を巻きつけます



5. 巻きつけた部分をはんだ付けします
・はんだを流す前にしっかり温めること

③の続き



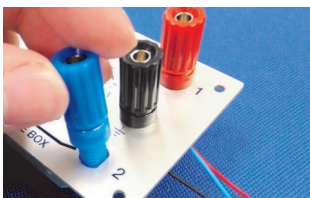
4. プリント基板がずれないように裏返し、ロータリースイッチの端子をはんだ付けします

5. 六角ナットをラジオペンチで固定します



・軽く締め付ける程度で

④ターミナル端子の取り付け



1. ターミナル端子をパネルに取り付けます。
パネル表示の1が赤端子、2が青端子、中が黒端子
・ラジオペンチで固定する

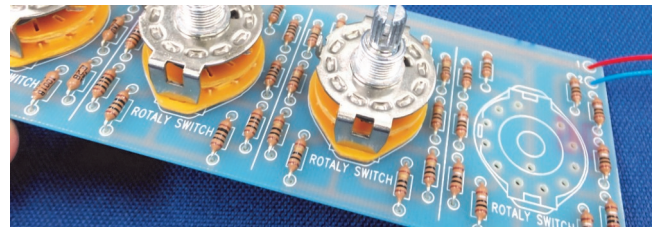


2. リード線を剥いて端子の先端に巻きつけます
・線の長さは適度に調整するとよい

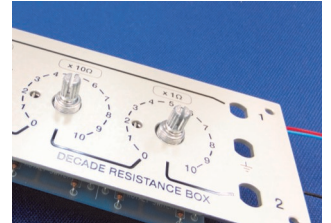
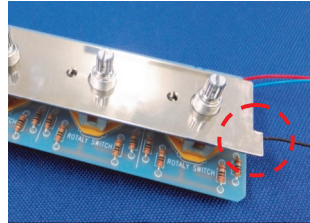


3. 巻きつけた部分をはんだ付けします
・はんだを流す前にしっかり温める

③ロータリースイッチの取り付け・はんだ付け



1. ②で配線したプリント基板にロータリースイッチをはめ込みます



2. ロータリースイッチのシャフトに合わせ、中板、パネルを載せます
・中板の裏表に注意



3. シャフトにワッシャーを入れ、六角ナットで締めます
・ぐらぐらしない程度に手で締めつけること

⑤組み立て



1. ケースにゴム足を貼ります
・ケースの小さい穴を目安に



2. パネルをケースにはめ込み、なべ小ネジで固定します
・リード線を挟まないように注意



3. ツマミを取り付けます
目盛りに合わせてるようにして押し入れてください
・ロータリースイッチが反時計方向いっぱい位置で"0"となります

⑥確認



1. テスターを端子1と2に繋げて抵抗値を確認します

・すべて0の位置で1Ω未満
・ダイヤル1個ずつ抵抗値の変化を確認します
(この時、他のダイヤルは"0")
・抵抗器の誤差なども考慮して抵抗可変に問題がなければ確認終了です

～ 完成!! お疲れ様でした!! ～